

飯能市公共施設等総合管理計画

個別施設計画（公立保育所、放課後児童クラブ）

令和3年2月
飯能市

【目次】

第1章 背景と目的

1. 1 背景
1. 2 目的
1. 3 計画期間
1. 4 対象施設

第2章 施設の実態

2. 1 対象施設の概要
2. 2 施設の現状
2. 3 活用状況
2. 4 施設運営にかかるコスト

第3章 施設整備の基本的な方針

3. 1 施設の規模・配置計画等の方針
3. 2 改修等の基本的な方針

第4章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

4. 1 改修等の整備水準
4. 2 維持管理の項目・手法等

第5章 長寿命化等の実施計画

5. 1 改修等の優先順位付けと実施計画
5. 2 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

第6章 長寿命化等の継続的運用方針

6. 1 情報基盤の整備と活用
6. 2 推進体制等の整備
6. 3 フォローアップ

第1章 背景と目的

1.1 背景

本市では、昭和40（1965）年代からの急激な人口増加を背景に、公共施設や道路、上・下水道施設などのインフラ（社会基盤施設）を多く整備してきました。

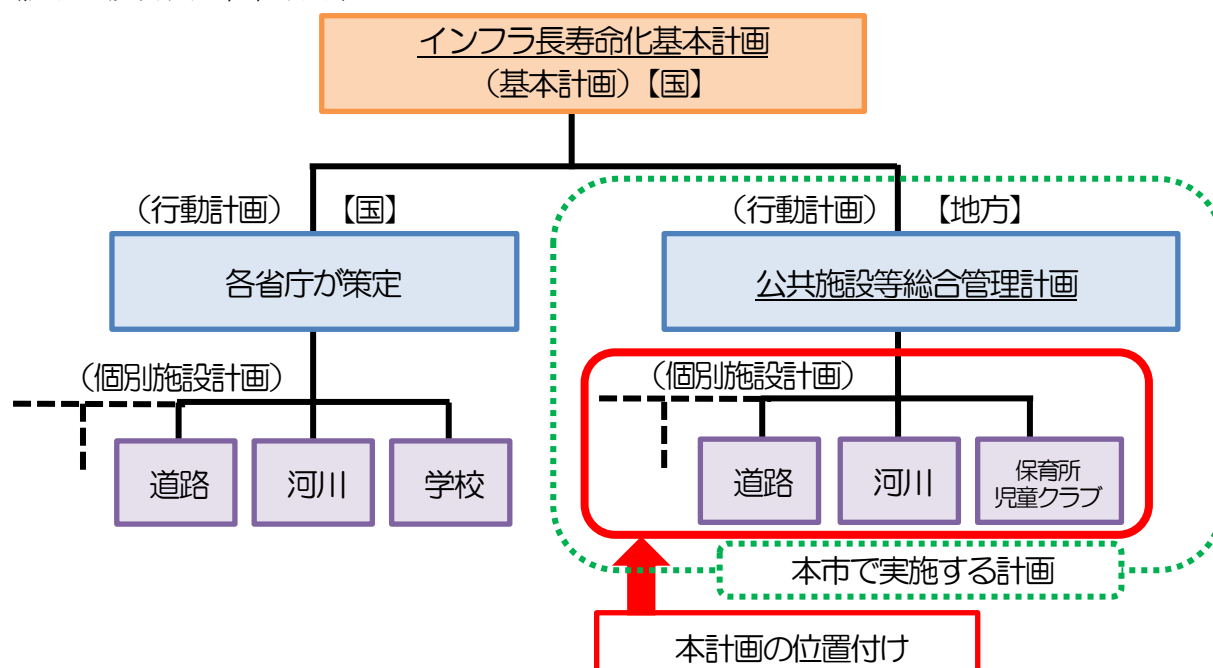
現在、これらの公共施設等の一部である公立保育所等においても、多くが建設から30年以上が経過し、老朽化が進行する中、修繕等の維持管理費が増大しており、今後は大規模改修や建替えに多額の費用が必要とする時期を迎えています。

これら施設の適正な維持・管理は「公共施設等の更新問題」と言われ、全国の自治体に共通した課題であり、避けることのできない問題として対策が必要となっています。

1.2 目的

本計画の目的は、平成29年3月に策定した「飯能市公共施設等総合管理計画」に基づき、個別施設ごとの具体的な整備方針や実施スケジュール等を「個別施設計画」として示すものです。

（個別施設計画の位置付け）



1.3 計画期間

本計画期間は、令和3（2021）年度から令和12（2030）年度までの10年間とします。ただし、この期間内であっても人口動態、社会経済情勢、国の補助制度などの動向により、柔軟に計画を見直します。

1.4 対象施設

本計画の対象施設は、「飯能市公共施設等総合管理計画」に定める「保健福祉医療系施設」、公立保育所及び放課後児童クラブを対象とします。

第2章 施設の実態

2.1 対象施設の概要

【公立保育所】

施設名	延床面積 (㎡)	建築年	構造	耐震化	備考
山手保育所	1,625.26	平成24年	鉄筋コンクリート造	不要	複合施設
第二区保育所	381.43	昭和49年	鉄筋コンクリート造	未実施 (耐震診断実施済)	複合施設
富士見保育所	453.01	昭和46年	鉄筋コンクリート造	実施済	複合施設
浅間保育所	507.31	昭和48年	鉄筋コンクリート造	未実施	
加治保育所	438.29	昭和61年	鉄筋コンクリート造	不要	
加治東保育所	586.18	昭和56年	鉄筋コンクリート造	未実施 (耐震診断実施済)	複合施設
美杉台保育所	751.54	平成9年	鉄筋コンクリート造	不要	複合施設
吾野保育所	389.54	昭和52年	鉄筋コンクリート造	未実施	
原市場保育所	621.30	昭和63年	鉄筋コンクリート造	不要	複合施設

【放課後児童クラブ】

施設名	延床面積 (㎡)	建築年	構造	耐震化	備考
双柳たけの子クラブ	159.61	平成21年	木造	不要	専用施設
双柳きのこクラブ	98.75	平成31年	木造	不要	〃
飯一小どろんこクラブ	128.31	昭和41年	鉄筋コンクリート造	実施済	余裕教室

飯一小あおぞらクラブ	89.84	平成21年	木造	不要	専用施設
飯一小にじいろクラブ	84.6	昭和41年	鉄筋コンクリート造	実施済	余裕教室
原市場かたくりクラブ	146.58	平成8年	木造	不要	専用施設
原市場かたくりクラブ第2	81.06	昭和42年	鉄筋コンクリート造	実施済	余裕教室
加治けやきクラブ	—	—	—	—	個人所有
加治さくらクラブ	89.84	平成21年	木造	不要	専用施設
富士見わんぱくクラブ	121.28	平成13年	鉄骨造	不要	〃
STEP 児童クラブ	103.0	昭和46年	鉄筋コンクリート造	実施済	〃
加治東くりの子クラブ	104.34	平成14年	木造	不要	〃
児童クラブひまわり	115.93	令和元年	木造	不要	〃
なぐりっ子クラブ	45.81	平成8年	木造	不要	〃
とのやまクラブ	—	—	—	—	個人所有
南高麗児童クラブ	260.52	昭和42年	鉄骨造	未実施	専用施設
精明児童クラブポプラ	58.16	昭和49年	鉄筋コンクリート造	実施済	余裕教室
美杉台児童クラブ室	96.34	平成10年	鉄筋コンクリート造	不要	児童館内
美杉台児童クラブ白樺	159.69	平成25年	木造	不要	専用施設

2. 2 施設の現状

少子化が進む一方、女性の就業率の増加や核家族化の進行に伴い、安心して子どもを預ける受け皿のさらなる整備が求められています。

飯能市の公立保育所は現在9か所、放課後児童クラブはすべての小学校区（12校区）に設置され、21か所整備されています。

公立保育所は、築40年以上の建物が4か所、築30年以上の建物が3か所と、多くの施設の老朽化が進んでおり、大規模改修や建替え、統廃合など、今後の施設の在り方について検討が必要となっています。今後の児童の人口推移や保育ニーズを十分に把握したうえで適切な受け皿の確保が求められています。

放課後児童クラブは、複数の児童クラブが設置されている小学校区もありますが、利用者数の増加に対応するため、新たな児童クラブの設置や既存の児童クラブの分割等により受け入れ体制の強化が求められています。

2. 3 活用状況

【公立保育所】

令和2年4月1日現在

施設名	定員（人）	利用者数（人）	利用率（%）
山手保育所	150	158	105
第二区保育所	60	49	82
富士見保育所	100	87	87
浅間保育所	100	86	86
加治保育所	60	69	115
加治東保育所	100	102	102
美杉台保育所	100	117	117
吾野保育所	45	18	40
原市場保育所	100	47	47

【放課後児童クラブ】

令和2年4月1日現在

施設名	定員（人）	利用者数（人）	利用率（%）
双柳たけの子クラブ	(71)	55	77
双柳きのこクラブ	(42)	40	95
飯一小どろんこクラブ	(77)	68	88
飯一小あおぞらクラブ	(42)	56	133
飯一小にじいろクラブ	(51)	46	90
原市場かたくりクラブ	(75)	40	53
原市場かたくりクラブ第2	(49)	37	76
加治けやきクラブ	(61)	69	113

加治さくらクラブ	(42)	60	143
富士見わんぱくクラブ	(51)	38	75
STEP児童クラブ	40	47	118
加治東くりの子クラブ	(42)	58	138
児童クラブひまわり	35	29	83
なぐりっ子クラブ	(24)	14	58
とのやまクラブ	24	10	42
南高麗児童クラブ	(51)	28	55
精明児童クラブポプラ	19	13	68
美杉台児童クラブ室①	55	55	100
美杉台児童クラブ室②	25	25	100
美杉台児童クラブ白樺	70	60	86
さゆり学童クラブ	30	34	113

※ () は専用面積を1.65㎡で除したもの。

公立保育所ならびに放課後児童クラブにおいて、市街地の施設に関しては定員を上回る利用率が見られ、山間地域の施設は定員以下の利用率となっています。

2. 4 施設運営にかかるコスト

【公立保育所】

年度	決算額 (円)	備考
令和元年度	381,312,015	非常勤職員人件費、光熱水費、修繕費、 その他施設関連費等
平成30年度	358,836,169	〃
平成29年度	387,264,459	〃
平成28年度	391,048,219	〃
平成27年度	389,717,757	〃

【放課後児童クラブ】

年度	決算額 (円)	備考
令和元年度	50,227,929	修繕費、土地・家屋借上料、工事請負費、 その他施設関連費等
平成30年度	31,956,180	〃
平成29年度	24,582,458	〃
平成28年度	5,538,580	〃
平成27年度	5,118,828	〃

第3章 施設整備の基本的な方針

3.1 施設の規模・配置計画等の方針

公立保育所は、地域の保育ニーズに対応できるよう、量の最適化及び機能の充実を図ります。昭和50～60年代に集中的に整備された公立保育所の建物は、一様に老朽化が進行し、安全確保のために毎年の修繕箇所が増加傾向となっており、修繕費用の増加や大規模改修及び更新（建替え）にかかる費用が増大し、財政的に大きな負担となっています。

また、公立保育所は、市の財政で全て負担する必要がありますが、民間の認定こども園や保育園は、国等の補助制度により施設の整備にかかる経費に対して支援が受けられます。そのようなことから改築が必要な保育所については、将来の保育需要を見込み、本市の職員配置や財政状況、都市計画を踏まえ、民間保育園等の活用を進めていきます。

放課後児童クラブは、地域差がありますが対象児童の拡大等により、今後も多くの利用が見込まれる学校区においては、小学校（関係所管課）との連携を図りながら、引き続き施設の維持・管理と整備を進めていきます。

3.2 改修等の基本的な方針

利用者が安全に施設を利用するためには、施設・設備を適切に維持管理・改善していくことが不可欠です。施設・設備の不具合を早期に発見して適切に処置することは、安全管理の面からも重要であることから、施設・設備の実態を把握し適切に評価を行い、従来の「事後保全」型の管理から、「予防保全」型の管理への転換を図ります。

耐震化の進んでいない施設等に関しては、耐震診断・耐震改修を実施します。利用率の低い施設については、統合、廃止等の検討を進めます。

第4章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

4.1 改修等の整備水準

対象施設の実態や方針を踏まえ、統一の方針として今後の長寿命化修繕等の方針及び整備水準の例を以下のように示します。

【安全・安心な施設の確保】

屋上防水及び屋根改修（メンテナンス性の向上や高耐久な建材の使用、断熱化）
 外壁・外部建具改修（断熱化、周辺環境に合わせた塗装）
 内装改修（木質化、防火性能の現代化、明るい色調、防音壁・天井）
 電気設備改修（省エネルギー機器に更新、発電施設・蓄電施設）
 機械設備改修（省エネルギー機器に更新、水道・ガスの外配管）
 外構改修（外周フェンスの更新、雨水排水対策）
 防犯対策（防犯カメラ等の設置）
 非常時に対応する機能の強化（災害時に使用できる給水設備、発電施設・蓄電施設）
 非構造材の耐震化（什器類の固定）

【快適性が確保された施設の確保】

空調設備の整備（改修）
 トイレ改修（洋式化・乾式床・節水型便器・温水便座（職員用））
 バリアフリー改修（多目的トイレ、段差解消）
 内装改修（教室の木質化、ロッカー類の更新）
 配膳室改修（メンテナンス性の向上、衛生の向上）

【環境に配慮した施設の確保】

電気設備改修（省エネルギー機器に更新、発電施設、蓄電施設）〈再掲〉
 機械設備改修（省エネルギー機器に更新、水道・ガスの外配管）〈再掲〉
 エコ改修（太陽光発電・複層ガラス・LED照明・人感センサーなど）

4.2 維持管理の項目・手法等

予防保全の考えに基づいた施設管理を進めるためには、建物の劣化状況を的確に把握することが必要となります。そのため、施設職員による日常点検のほか、所管課職員による劣化状況調査を行い、施設の劣化状況を的確に把握し、劣化を防ぐ修繕をしていきます。

点検・調査	調査者	実施年度（計画策定の翌年度を1とする）							
		1	2	3	4	5	6	7	…
老朽度調査	所管課職員		●			●			…
設備機器点検	維持管理業者	設備ごとの点検							…
日常点検	施設職員	●	●	●	●	●	●	●	…

点検・調査	調査項目
老朽度調査	屋根、外壁、内装、機械設備、電気設備等
設備機器点検	設備機器に関する法令に準拠する
日常点検	内装、機械設備、電気設備等

(1) 老朽度調査

屋根、外壁、内装、機械設備、電気設備等について、経年劣化の程度を把握するため、文部科学省の施設劣化状況調査票を用いて、施設所管課の職員が目視を中心とした点検、調査を行います。

(2) 設備機器点検

消防用設備、浄化槽、昇降機等について、法令に基づいた点検を維持管理業者が行います。

(3) 日常点検

内装、機械設備、電気設備等について、施設職員が施設の点検を行い、施設を日常使用する上での支障や不具合を発見していきます。

第5章 長寿命化等の実施計画

5.1 改修等の優先順位付けと実施計画

(1) 修繕等の優先順位付け

修繕等の優先順位付けの考え方は以下のとおりです。

劣化度 重要度	A (概ね良好)	B (部分的に劣化している)	C (全体的に劣化している)	D (応急処置が必要な劣化がある)
	小	中	大	極大
小	極小	小	中	大
中	極小	中	大	極大
大	中	大	極大	極極大

(2) 修繕等の実施計画

施設の劣化状況や修繕等の優先順位付けを総合的に勘案し、計画期間において実施する公立保育所及び放課後児童クラブの修繕の予定一覧は下記のとおりです。

【公立保育所】

今後も安全に利用するために耐震未実施の建物を優先して早急に改修する必要があります。

修繕等の内容	優先度	事業年度	費用(千円)
加治東保育所耐震改修	極極大	R 3	171,000
浅間保育所耐震改修	極極大	R 5	147,992
富士見保育所大規模改修	極大	R 6	110,127
第二区保育所耐震改修	極極大	R 8	111,271
吾野保育所耐震改修	極極大	R10	113,637
美杉台保育所大規模改修	大	R12	182,699

※大規模改修費用の単価は、「公共施設及びインフラ資産の将来の更新費用の試算」総務省ホームページより引用

※耐震改修費用の単価は、通常の大規模改修費用の2割増しで単価設定

○大規模改修費用＝(単価1)×1.3(諸経費)×1.1(消費税)

○耐震改修費用＝(単価2)×1.3(諸経費)×1.1(消費税)

(千円)

	大規模改修費用 (単価1)	耐震改修費用 (単価2)
子育て支援施設	170	204

【放課後児童クラブ】

修繕等の内容	優先度	事業年度	費用（千円）
放課後児童クラブ新設補助金（加治）	極極大	R 3	12,000
放課後児童クラブ建設工事（美杉台）	極極大	R 4	38,000
飯一小どろんこクラブ床修繕	大	R 4	500
南高麗児童クラブ耐震改修工事	極極大	R 5	3,000
精明児童クラブ空調設備交換修繕	極大	R 5	1,000
なぐりっ子クラブ空調設備交換修繕	極大	R 6	500
加治東くりの子クラブ空調設備交換修繕	極大	R 7	1,000
飯一小あおぞらクラブ空調設備交換修繕	極大	R 8	1,000
加治さくらクラブ空調設備交換修繕	極大	R 9	1,000
双柳たけの子クラブ空調設備交換修繕	極大	R10	1,000
美杉台児童クラブ白樺空調設備交換修繕	極大	R11	1,000
原市場かたくりクラブ解体撤去工事	大	R12	1,500
飯一小どろんこクラブ空調設備交換修繕	極大	R12	1,000

5. 2 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

老朽化した施設については、大規模改修による長寿命化を図り、建替えが必要な場合は民間活力の活用（PPP, PFI）を視野に入れた検討をします。

また、長寿命化を行うことで、以下のような効果が期待できます。

資産の有効活用	環境への貢献
●建物を長く有効に使い続けることができる。	●建替えに比べ廃棄物を減少できる。
財政面への貢献	最適化に向けた時間の確保
<ul style="list-style-type: none"> ●建替えに比べ、工事費の縮減や工期の短縮ができる。 ●長期スパンでの建替費を軽減できる。 ●財政負担の平準化ができる。 	●建替え時期を先に延ばせることで、その時点での人口動態や財政状況、地域の実情に応じた施設のあり方を検討できる。

第6章 長寿命化等の継続的運用方針

6.1 情報基盤の整備と活用

本計画を推進するにあたり、施設の点検、修繕履歴等を把握し、本計画の見直しや効果的な運用等を見据え、情報を一元管理し活用していきます。

6.2 推進体制等の整備

施設管理者、関係部署と一層連携し、修繕内容やスケジュールなどを踏まえ、計画的に運用していきます。また、上位計画である飯能市公共施設等総合管理計画に取り組めるよう、全庁的な体制を図ります。

6.3 フォローアップ

長寿命化の実施計画を継続的に運用していくことが重要ですが、保育所等を取り巻く環境（老朽化状況、保育環境、財政等）は、今後も年々変化するものであるため、計画の進捗状況と照らし合わせながら、PDCAサイクルに基づく検証を行います。上位計画である飯能市公共施設等総合管理計画が10年を目途に改訂されますので、本計画も必要に応じて適宜見直しを行っていきます。